この瞬間を笑顔に！みんなで支えて叶えたい

横浜こどもホスピスプロジェクト

Vol. 9
Jul 2022

だれもが生きやすい地域社会を目指して

Aiming for A Community Where Everyone Can Live Comfortably

認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト 代表理事　田川 尚登

皆様いつもご支援ありがとうございます。

「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」が開設しました。これまで多くの方が施設見学に来られましたが、見学後の皆様の感想として、ほとんどの方が“こどもホスピスへのイメージが変わった”という回答と“多くの方々の思いが込められた建物だ”という印象を持たれました。

「こどもホスピス」という言葉のイメージを変えたいという思いは世界共通であるということを知り、海外のこどもホスピスと同じように「こどもホスピス」という言葉を施設名に入れました。施設をご覧になられた方からは、家族全体が楽しく過ごす居場所だということが理解できたという声をいただいています。海の見える立地場所や施設設計のお陰でもあります。この建物の建設には多くの関係者と専門家から寄せられたアドバイスの賜物だと自負しています。

私たちの活動で主眼に置いていることはLTC※の子どもと家族の心理的・社会的孤立の軽減に向けて、安心して過ごせる居場所づくりとつながりを感じて生きられる地域ネットワークづくりです。まずは地域の皆様にこどもホスピスの役割を知っていただくこと。そして、LTC※の子どもと家族が置かれた立場を知っていただくために、医療・福祉・教育でカバーできていない部分を地域の皆様と一緒に考えていきます。地域ネットワークづくりの４つの柱として①地域の教育機関との連携②地域住民や企業との連携③行政との連携④医療機関や多職種との連携を目指していきます。

私たちは、LTC※の子どもと家族が望む過ごし方の選択ができる社会と子どもが一人の人として大切にされ、家族や地域社会とのつながりのもとで「いのち」の可能性が発揮できる社会を目指していきたいと思います。

※ LTC:Life-threatening conditions（生命にかかわる病気とともにある）

First of all, I would like to express my sincere gratitude for the continuing aid from our supporters.

“The Ocean and Sky Children’s Hospice in Yokohama” has finally opened. A lot of people have come to visit our place so far. After the tour, most of them answer that their image of the children's hospice has changed and it feels like a building filled with the heartfelt wishes by numerous people.

We learned that there is the common desire throughout the world to change the image of the term “children’s hospice”, so I included "children's hospice” in the name of our facility, just like other overseas children's hospices. People who have visited our hospice have told us that they understand that it is a space designed to be a positive environment for the whole family. We think that it is thanks to the advantages of its location as well as to the wonderful design of the facility. At the same time, we are proud that the construction of this building is truly the fruit of valuable advice from many stakeholders and experts.

The main focus in our activities is to create a place where children with life-threatening diseases and their families can find peace of mind in order to reduce their psychological and social isolation. Moreover, we aim to build up a regional network system in which they can feel connected with their communities.

Above all, we would like people in surrounding communities to appreciate the role of a children's hospice. In addition, so as to help people understand what kind of situation children with life-threatening diseases and their families are placed in, we are going to work together with residents in our communities to think about the areas which cannot be covered by medical care, welfare and education. As the four pillars of realizing a regional network system we will strive to cooperate with (1) local educational institutions, (2) local residents and companies, (3) the government and (4) medical institutions and various professions.

We would like to aim for a society where children with life-threatening diseases and families can choose how to live, and where all of those children are valued as precious individuals in which their life potential can be achieved in conjunction with their families and local communities.

横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち

ご利用が始まりました

2021 年 11 月 21 日、秋空の下、「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」は落成とあわせて開所しました。

本来であれば、開所までにもっと準備期間を設けるべきであったのかもしれません。しかしながら、12 月は、子どもたちにとって特別なシーズン、待ちに待ったクリスマスがやってきます。私たちは、どうしてもこの大事な 1 日を届けたいという思いから、準備を急いで開所を早めました。

そして、クリスマスである 12 月 25 日、はじめてのご利用のお子さんとご家族をお迎えすることができました。

開所から約半年が経ち、30 組近くのご家族にご利用のお問い合わせをいただき、10 組以上のご家族に実際に見学やご利用をいただきました。

それぞれのお子さんやご家族と、出会いからの期間はまだ長いものではありませんが、その間にも、子どもたちはぐんぐんと成長していく姿を私たちに見せてくれます。

その中のお一人から、メッセージをいただきました。

利用者の声

光常正次・杏里

娘が病気になってからは、禁止されている事も多く、できない事ばかりで、せっかくの一時退院中も、公園を避けてのお散歩や、お友達が外で遊んでいる姿を見せないようにしたりすることがいつしか普通になってしまっていました。

夫婦以外の人とコミュニケーションを取る機会もほとんどなくなり、視野もどんどん狭くなっていっていたように思います。

そんな中、巡り会えた、うみとそらのおうちを訪れると、あらゆる病気や障害に応える施設の機能面もさることながら、スタッフの方の優しさ、細やかな心配り、温かさに娘も私たち両親もすっかり包まれてしまいました。

私たち家族のやりたいこと、まだ小さい娘の突然の「これやりたい！」という要求にも、必ず「やろうやろう！」と応えてくれ、娘は治療や薬のことは忘れて、親だけでは引き出すことの出来ない笑顔を見せてくれます。私達も、娘は治療中だけど、制限された中でもできる事がたくさんあるんだと気づく事ができ、現状をポジティブに考えることができるようになりました。

付き添い入院の深い苦しみ等は周囲の人にはなかなか理解されにくいのですが、うみとそらのおうちでは多くを言葉にせずとも全て理解してくれているので、なかなか他の人には言えない悩みも打ち明けられたのかと思います。

うみとそらのおうちと出会えたことで、病気の経験が、辛い思い出だけで終わることはなく、家族にとって本当に大事なものを見つけられました。

"うみそらファミリー"

うみとそらのおうちで過ごす１日は、病院や家庭では経験しにくい、子どもたちの「やってみたい！」がたくさん詰まっています。

そこには、子どものチャレンジや家族としての時間を支えてくださるボランティアさんや地域の方々の存在が大きくあります。

また、病気のお子さんやご家族も、仲間のためにできることをしたいという思いから、さまざまなかたちで、こどもホスピスを届けるためのご協力をくださっています。

そこで生まれたのが、「うみそらファミリー」という言葉です。

「うみそらファミリー」という言葉は、当初は、支援者さんたちの愛称として考えられたものでした。ところが、このように仲間のためにできることをしたいとご協力くださるお子さんやご家族の姿から、支援する側 / される側の線引きはすでに消えていることに気がつきました。「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」にかかわるすべての人の総称として、この言葉を使います。

コミュニティ型こどもホスピスとして、「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」がどうあるべきか。「うみそらファミリー」のみなさまとご一緒に、子どもと家族の笑顔を守る「第二のおうち」をつくっていければと思っています。

Message from Guests

Shoji & Anri Mitsutsune

Since our daughter became ill, there have been so many things that she was not allowed to do. Even during her temporary discharge from the hospital, we got used to avoiding the park while we took a walk and trying not to show our child her friends enjoying the time outside.

Day by day, our daughter had almost no occasions to communicate with other people except us, so we began to feel we had a limited perspective.

Under these circumstances, we visited the Ocean and Sky Children's Hospice in Yokohama. This place has excellent facilities for various children with illness and disability. Furthermore, the kindness, thoughtful attention and warm heart of the staff embraced all of us.

Staff responded enthusiastically not only to the things that our family wanted to do but also our small girl's spontaneous request, "I want to do this!" They made our daughter to forget about her treatment and medication and

brought us her extraordinary smile, which we had been challenged to do by ourselves. We came to realize that there were still some possibilities of what we could do even in the restrictive conditions of the treatment. This experience enabled us to start thinking positively about our current situation.

I think that it is difficult for people around us to understand the heavy burden of staying with our child at the hospital. However, at the Ocean and Sky Children's Hospice in Yokohama, our feelings were well accepted and understood without so many words. There, we were able to share our concerns, which we had hesitated to talk about with others.

By coming across the Ocean and Sky Children's Hospice in Yokohama, now we feel that the experience with our daughter's illness does not end with only heart-wrenching memories. We could find something very important for our family.

こどもホスピスウィーク 2022

４月28日（よつばの日）は、日本こどもホスピスの日。そして、4/28から5/5までの１週間をこどもホスピスウィークとして、日本全国でこどもホスピスを盛り上げようと全国のこどもホスピスプロジェクトがイベントを開催！

「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」でも、様々なイベントを開催しました。

かながわボランタリー活動推進基金21協働事業負担金対象事業

こどもホスピスチャリティーフェスティバル in YOKOHAMA2022（2022.4.29）

４月29日には、２回目となる「こどもホスピスチャリティーフェスティバル inYOKOHAMA2022」を開催。会場とオンライン配信で実施し、400名程の方にご参加いただきました。前半は、オープンから半年の関りを経て大切にしていることや思いをスタッフのトークショーという形でお話しました。スライドを交えてのトークショーは、「具体的にどのようにこどもとご家族が利用されているのかがわかり、引き続き応援したくなりました」と、温かなメッセージをたくさんいただきました。また、後半は、女優で応援アンバサダーの大和田美帆さんには優しく力強い歌で、そして、ピアニストの斎藤守也さんには、ピアノで会場を一緒に盛りあげていただきました。

改めて、ご支援ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。来年も素敵なフェスティバルを届けられるようがんばります！

希望としあわせをシェアしよう♪ キャンペーン

希望のシンボル「虹」としあわせのシンボル「四つ葉のクローバー」をSNSに投稿して皆さまにご参加いただく「希望としあわせをシェアしよう♪キャンペーン」。

今年もたくさんの皆さまの作品が集まりました！（参加してくださった方の作品の一部をご紹介します）ご参加くださった皆さま、ありがとうございました！

金澤能広報ブース(2022.5.3)

称名寺薪能実行委員会の皆様よりお声がけいただき、金澤能にこどもホスピスの広報ブースを出展しました。

当日は、イベントボランティアさんにご協力いただき、金澤能にお越しいただいた皆さまにこどもホスピスのチラシを配ったり、募金箱を設置させていただきました。

親子ブースにお子さんとご家族も招待いただき、伝統芸能を体験するとても貴重な機会になりました。

クラウドファンディング

みどりでつながるプロジェクト

４月１日より１か月間､大鵬薬品工業（株）「第一回　大鵬スマイルサポート」の助成を受けてクラウドファンディングを行ないました。

生命にかかわる病気のお子さんに、うみとそらのおうちで自然と触れ合える体験をして欲しい、という思いから始まったこのプロジェクト。

おかげさまで117名もの方にご協力いただきまして、目標金額を達成することができました。

今回のクラウドファンディングにかかわってくださったすべての方に心より感謝申し上げます。

さっそくボランティアさんや地域の方々と一緒にお庭作りを始めています。「みどり」を通してみんながつながっていけるようにこれからも取り組んでまいります！

みどりでつながるプロジェクト

休眠預金活用事業

地域交流イベント

オープンしてから不定期ではありますが、地域の皆さまに開かれた場所として、小さなイベントを開催しています。認定 NPO 法人あっちこっちさんに音楽を、横浜市立図書館さんに絵本や本に触れ合う時間を届けていただいたりと、たくさんの方々にご協力頂いています。

今後の地域イベントも、随時ウェブサイトやＳＮＳ等で発信させていただきますので、ぜひ遊びにいらして下さい。

地域内覧会 (2021.11.28)

落成式直後の昨年 11 月 28 日に、地域の皆さまをお招きし内覧会とミニコンサートを開催しました。感染対策のため人数制限もありましたが、50 名の方にご参加いただきました。

- こころ温まる素敵な場所で、病気を抱えたご家族がくつろげる空間だと感じた
- 終末期医療施設だと思っていたが、そうではないことが理解できた
- すみずみまでに細やかな心遣い、やさしさがあり感動した

など、嬉しい感想をいただきました。

うみそらブックふぇす (2022.5.21)

少しお天気が不安定でしたが、うみとそらのおうちのお庭に横浜市立図書館の移動図書館「はまかぜ号」がやってきました！

おうちの中では、司書さんによる“お話会”と、認定 NPO 法人あっちこっちさんによる〝本と音楽のコラボ〟イベントを開催！

子どもから大人まで、たくさんの方々が参加してくださり、いろいろな楽しみ方を教えてくれた時間となりました。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

横浜市中央図書館からのメッセージ

当日はあいにくの雨で、移動図書館はまかぜ号での本の貸出しは 40 分遅れて開始しましたが、たくさんの子どもたちがホスピスとはまかぜ号に来てくださり、おはなし会や読書を楽しまれました。横浜市立図書館では今後も地域での読書活動支援に取り組んでまいります。横浜こどもホスピス関係者の皆さま、素敵な催しをありがとうございました。

Although that was rainy day sadly so that it was late for 40min to open Rental book event by Hamakaze Mobile Library, many children visited us and enjoyed storytelling and book reading. Our Yokohama City Library continues to tackle with improving reading support in regional level. We appreciate you, all of concerning with Yokohama Child Hospice, for this such a wonderful opportunity.

地域の小学校との交流♪ （2021.12.6 / 2021.12.23）

うみとそらのおうちから一番近い横浜市立瀬ヶ崎小学校で、お話をする機会をいただきました。
元気にこどもホスピスのクイズに答えてくれる子、真剣に話を聞いている子、質問をしたいと手を挙げてくれる子。一人ひとりの子どもたちの反応を間近で感じることができました。
その後、1 年生の子どもたちが「うみとそらのおうち」にクリスマスプレゼントを届けに来てくれました。ひとつひとつ丁寧に飾りつけてくれた松ぼっくりツリー。本当にありがとうございました。みんながお庭で歌ってくれた「にじ」の歌は、空高くまで届いていました。
♪きっと　明日はいい天気～♪

瀬ケ崎小学校からのメッセージ
わたしたちのおうち！　この瞬間を楽しんで

横浜市立瀬ケ崎小学校　**日暮 勤**

「校長先生が一番楽しそうだったよね！」
先日のうみそらブックフェスに参加した私に見ていた子どもがくれた言葉です。
瀬ケ崎小の子どもたちは昨年度の 1 年生が「うみとそらのおうち」と交流を始めました。まつぼっくりでつくった手のひらサイズのツリーをクリスマス前にプレゼント。田川さんやスタッフに聴いてもらった「にじ」の歌。「ありがとう！また遊びにおいでね」という嬉しい言葉。その後は友だちや家族と放課後に大きなブランコを楽しんでいます。
「うみとそらのおうち」は、瀬ケ崎小の子どもたちにとっても、同じ地域で生きる子どもがつながる温かい居場所です。フェスで子どものようにはしゃいでいた私は、その時、そこに関わる人たちの「いっしょにこの瞬間を楽しんで生きよう」というメッセージを確かに感じたのです。
子どもたちを包み込む「温かなおうち」を、これからもいっしょにつくっていきたいです…。

One of my students watching me at the UMISORA Book Festival said, “You looked like you were really having fun at the festival .”

Last year’s first grade students of the Segasaki Elementary School had started to interact with the Ocean and Sky Children’s Hospice in Yokohama. They presented a palm-sized Christmas tree made of pine cones before Christmas and sang the song “A Rainbow” to Tagawa-san and the staff. They left us with this message: “Thank you! Please come and have fun together again.” Our students have enjoyed the big garden swing with their friends or family after school since then.

For the children of the Segasaki Elementary School, as well as users, the Ocean and Sky Children’s Hospice in Yokohama is a heartwarming venue which connects children living in the same community. Frolicking in the festival like a child, I certainly felt the message from the people supporting the Ocean and Sky Children’s Hospice in Yokohama; Let’s live enjoying this moment all together.

I would like to continue working with you to create a heartwarming hospice which embraces children.

かながわボランタリー活動推進基金 21 協働事業負担金対象事業

病児と遊びの研究会

2021 年度の病児と遊びの研究会。第２回（2021.12.11）は作業療法士の太田篤志さんを講師にお招きし、「障がいを持つ子どもにとっての遊びの価値～遊びは発達を促すためのもの？～」をテーマにお話をしていただき、遊びのワークショップは保育士・HPS の安田 伸枝さんをお招きして行いました。

第３回（2022.3.12）は豊橋技術科学大学の岡田美智男先生を講師にお招きし、「〈弱いロボット〉だからできること」をお話しいただきました。

この一年間、色々な立場や職種の参加者の皆さまが、ご自身のフィールドに学びを持ち帰ることを目指して開催してきました。皆さまにとって、学びの多い時間になり、病児への関わりにつながったなら何よりうれしいです。

2021 年度事業報告書 (2021/4/1 ～ 2022/3/31)

①生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設の整備運営事業
（支出額：26,494,971 円（建築費は除く））

ア　横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち建設及び式典
内容：こどもホスピス建設の式典
日程：令和 3 年 7 月 8 日上棟式・11 月 21 日落成式典
参加者：30 人 /108 人

イ　横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち整備運営
内容：施設開設・運営（ホスピスケア提供）
日程：令和 3 年 10 月末竣工、11 月 21 日より施設運営開始
利用者：25 組（延べ家族数）

ウ　ワークショップ開催
内容：環境作りワークショップ（うみとそらのおうち 1 階の内装）
日程：令和 3 年 11 月 7 日
人数：48 人（参加者）

エ　相談事業
内容：家族からの相談（心理的・社会的）
日程：令和 3 年 11 月 21 日～令和 4 年 3 月
対象：生命を脅かす病気の子どもと家族
利用者：25 組（延べ家族数）

②小児緩和ケアに関する実態調査や啓発及び普及活動
（支出額：8,516,586 円）

ア　こどもホスピス啓発イベント
内容：こどもホスピスフェスティバル（コンサートの開催）、第 4 回全国こどもホスピスサミット（希望を未来につなぐプロジェクトとの共催）
日程：令和 3 年 4 月 29 日・令和 4 年 2 月 11 日
場所：市内ホール
人数：出演者 2 人・職員 / ボランティアスタッフ計 30 人
対象：こどもホスピスに関心のある医療・福祉・教育関係者、一般
参加者：229 人 /305 人

イ　広報活動戦略の強化
内容：広報ツールである web サイトの整備、冊子（利用案内、おうちガイド）と動画（開所までの軌跡の日本語版・英語版、おうち紹介動画）の作成

ウ　地域診断
内容：地域の現状を把握するための調査・分析、ヒアリング
対象：横浜を中心とした地域の小児緩和ケアに係わる医療・福祉・教育関係者、一般

エ　教育機関における普及活動
内容：小学校におけるいのちの授業（人権教育）の開催
日程：令和 3 年 12 月 6 日
場所：横浜市立瀬ケ崎小学校
人数：従事者 3 人・参加者 350 人

オ　内覧会および見学会の開催
内容：内覧会・見学会
日程：令和 3 年 10 月末の竣工～令和 4 年 3 月
参加者：622 人

カ　地域向け見学会の開催
内容：地域住民に向けた周知イベント
日程：令和 3 年 11 月 28 日
人数：従事者 6 人、参加者 50 人

③小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業
（支出額：5,288,628 円）

ア　病児と遊びの研究会
内容：病気や障がいがある子どもとの遊び方の研修
日程：年度内 3 回　令和 3 年 7 月 3 日、12 月 11 日、令和 4 年 3 月 12 日
場所：オンライン
人数：講師 2 人（× 3 回）、職員 2 人 /　参加者 120 人

イ　こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム
内容：小児緩和ケアを体系的に学ぶ研修
日程：令和 3 年 5 月 15 日～ 16 日
場所：オンライン
人数：講師 7 人、職員 2 人 /　参加者 106 人

ウ　小児緩和ケアネットワーク会議
内容：生命を脅かす病気の子どもや家族が直面する課題解決のための勉強会
日程：令和 3 年 9 月 8 日、10 月 13 日、11 月 10 日、12 月 26 日、1 月 12 日、2 月 9 日、3 月 12 日
人数：講師 4 人、職員 2 人、運営委員会　/　参加者 214 人
対象：横浜を中心とした地域の小児緩和ケアに係わる医療・福祉・教育・行政関係者、一般

エ　小児緩和ケア共同研修会
内容：こどもホスピス運営団体間における研修会（情報交換・交流を含む）
日程：7 月 31 日：出張 2 人・オンライン研修 6 人、3 月 9 日：見学受け入れ 2 人
場所：TSURUMI こどもホスピスおよびオンライン
対象：こどもホスピス運営団体の職員

積水ハウスマッチングプログラムこども基金　長期プロジェクト助成事業
休眠預金活用事業

小児緩和ケアネットワークカンファレンス in YOKOHAMA

小児緩和ケアネットワークカンファレンスでは、毎月の情報交換会に加えて、生命にかかわる病気や状況にある子どもと家族の望む過ごし方が地域でできるように、アドバンス・ケア・プランニングについて学ぶワークショップを行っています。

2021 年度の第２回（2021.12.26）は、せや在宅クリニックの大村在幸さんに「新しい目的地と海図～ナラティブ：患者の物語と医師の物語から」、AYA GENERATION ＋ group の園田彩夏さんに「自分らしく生きるための私の選択」というテーマでお話しいただきました。

第３回（2022.3.13）は、武藤朋子さんに「もしバナゲーム」を通して、自身の希望や価値観を考え、参加者同士で共有することで、価値観の多様性を体感するワークを行いました。

2022 年度は、定期的にオンラインと対面での情報交換会を継続していきます。

2022 年度事業予定

かながわボランタリー活動推進基金２１負担金事業・積水ハウスマッチングプログラム助成金・休眠預金活動事業・公益財団法人小林製薬青い鳥財団助成事業・公益財団法人ベネッセこども基金　他

（1）特定非営利活動に係る事業

① 生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設の整備運営事業

ア　横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち整備運営
内容：施設運営（ホスピスケア提供）
日程：令和４年４月～令和５年３月

イ　ワークショップ開催
内容：環境作りワークショップ（庭）
日程：年度内４回開催予定

ウ　相談事業
内容：家族からの相談（ピアサポート）
日程：令和４年５月～令和５年３月
対象：小児慢性疾病の子どもを持つ家族

エ　きょうだい児支援・交流会
内容：きょうだい児を含む家族の交流会
日程：年度内１または２回

オ　グリーフの会
内容：子どもを亡くした家族のグリーフケア
日程：年度内３回（9/13、12 月、３月）

② 小児緩和ケアに関する実態調査や啓発及び普及活動

ア　こどもホスピス啓発イベント
内容：こどもホスピスフェスティバル（コンサートの開催）、講演会
日程：令和４年４月 29 日、11 月未定

イ　広報活動戦略の強化
内容：広報ツール（web サイト・冊子・動画）の作成

ウ　地域診断
内容：地域の現状把握のための調査・分析、ヒアリング
場所：医療機関・教育機関・行政他

エ　教育機関における普及活動
内容：小中学校におけるいのちの授業の開催等
場所：横浜市金沢区内小・中学校

オ　施設見学およびミニセミナー
内容：施設見学およびミニセミナー

カ　地域イベント
内容：地域住民に向けたイベント・交流会
日程：年６回の開催

③ 小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業

ア　病児と遊びの研究会
内容：病気や障がいがある子どもとの遊び方の研修など
日程：年度内３回

イ　こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム
内容：小児緩和ケアを体系的に学ぶ
日程：年度内４回

ウ　小児緩和ケアネットワークカンファレンス
内容：生命を脅かす病気の子どもや家族が直面する課題解決のための勉強会
日程：月１回の開催

エ　インクルーシブ教育・保育ワークショップ
内容：生命を脅かす病気の乳幼児期の子どもや家族が就園・復園に関して直面する課題解決のためのワークショップ
日程：年度内４回（6/19、8/28、11 月、２月）

オ　小児緩和ケア共同研修会
内容：こどもホスピス運営団体間における研修会（情報交換・交流を含む）
日程：年間３回
場所：TSURUMI こどもホスピス他

活動計算書

2021年4月1日～2022年3月31日
（特定非営利活動に係る事業会計）

科目		合計（円）
Ⅰ．経常収益		
1.　受取会費	7,339,000	
2.　受取寄付金	101,450,880	
3.　受取助成金等	40,473,145	
4.　事業収益	239,560	
5.　その他収益	686,931	
	経常収益計	**150,189,516**
Ⅱ．経常費用		
1.　事業費	31,148,263	
2.　管理費	15,677,012	
	経常費用計	**46,825,275**

Ⅲ．経常外収益		
	0	**0**
Ⅳ．経常外費用		
税引前当期正味財産増減額		93,364,241
法人税、住民税及び事業税		74,772
当期正味財産増減額		93,289,469
前期繰越正味財産額		341,870,296
次期繰越正味財産額		435,159,765

ご寄付一覧

（順不同・敬称略）（2021 年 11 月～ 2022 年 5 月末）

ご支援、ありがとうございました

【寄付によるご支援者】

アオキ サチア／えびさわ まさき／クルス ミチヤ／阿久津 淳子／阿部 佳代／安井 渚／安池 亜矢子／安田 順子／伊東 延枝／伊藤 甲之介／伊藤 修／伊藤 春香／伊藤 聡子／伊藤 理智／伊藤 里香／井上 啓子／井上 幸代／井上 智世／磯辺 美輪／一色 廣子／稲垣 登志子／稲部 澄子／茨木 良枝／右松 晶子／臼井 岳史／臼井 歩／浦塚 美紀／永井 佑季子／永瀬 富士子／円谷 久美子／園田 誠一／薗田 覚／薗田 千夏／遠藤 綾子／遠藤 雅右／遠藤 信行／横山 新一郎／横田 光出／横田 碩子／岡田 美智男／岡田 明子／岡嶋 佳奈子／沖野 和正／下里 侑子／加藤 昭子／加藤 泰子／加藤 友紀／河原 美帆／河村 ふゆき／花里 典廣／蟹江 新太郎／蒲谷 博久／岸川 陽子／岸本 譲太／岩下 裕美／岩田 慶隆／岩本 烈子／亀井 洋子／吉井 祥博／吉井 豊／吉岡 勝／吉川 明美／吉村 みち子／吉村 由美子／吉田 賢一・聡／吉田 孝子／吉田 有人／吉野 征子／久保田 龍士・綾／宮治 容子／近藤 紀子／金古 圭太郎／金子 輝樹／栗原 悟／穴見 良子／月足 新／原 兼了／原 和子／原田 恵美子／古賀 陽子／古平 秀子／袴田 智哉／五十嵐 敏道／五味 和子／後藤 泰子／江波戸 洋子／綱島 健之／荒賀 智永／高橋 久美子／高木 かよ子／高木 恭子／黒川 かおり／黒川 宗一郎／黒木 敬／今井 博子／児玉 洋子／寺村 昌子／寺﨑 梨花／鹿嶋 美由紀／篠崎 暁子／柴山 操／佐井 朋美／佐々木 一圭／佐々木 裕幸／佐藤 愛子／佐藤 綾子／佐藤 庄一郎／佐藤 新嘉子／佐藤 崇／佐藤 隆一／佐藤 力／佐藤 和子／佐藤 曉子／斎藤 龍佑／坂上 直子／坂田 紀行／笹原 京子／鮫島 芙美／三浦 則子／三好 正子／三澤 綾乃／山下 義文／山口 潤／山口 智美／山崎 雅弘／山田 宏一／山本 一宜／山本 悦子／山本 徳治郎／山本 文子／山縣 久美子／四方 健彦／市川 かの子／志澤 直樹／氏家 啓子／若狭 静枝／守谷 明美／秋山 文香／秋本 修三／春原 千加子／緒方 公成／小原 聖子／小山 桂子／小出 明美／小瀬村 芳明／小田 亜味／小島 悦子／小島 桂子／小島 豊司／小嶋 洋子／小野寺 百合子／小林 幹紘／小林 誠／小林 房子／小林 猛・千賀子／松岡 弘／松宮 修／松崎 舞子／松山 美恵子／松田 正／松尾 宏之／松尾 正彦／松尾 智子／松本 英夫／上遠野 文子／上田 静子／上田 典平／植村 伊織／植田 容賦子／新家 一輝／新貝 万起子／森 大輝／森下 ヨシ子／森 清 澄子／森田 知子／森田 美佐子／真壁 浩子／人見 敦子／仁木 壯／諏訪 理絵／須佐 郁世／水口 幸治／水藤 謙輔／水藤 耕介／杉原 誠／杉山 真奈美／杉田 綾／菅野 孝志／瀬尾 公子／成宮 克侑／成田 英次／成富 育子／星 江里子／星野 斉／西 志野／西松 京子／西川 洋子／西田 薫／西留 敦子／青山 治子／斉藤 祥子／石井 美智子／石丸 晶子／石村 良子／石田 由紀子／石渡 賢一／赤尾 真由美／赤木 勝正／赤木 和子／川上 詩子／川上 真理／川村 幸恵／川田 千代子／川平 有紀／浅木 紗綾子／船越 祥子／前川 真由美／前田 美恵子／前田 美和子／前嶋 聡／前澤 真衣／曽我 宗代／増田 美波／増田 梨奈／村井 一夫／村松 芳江／村田 慶輔／大原 玄／大山 直香／大室 恵美子／大場 陽子／大田 圭子／大嶋 博之／大道 弘直／大内田 潤子／大野 高広／大野 克己／瀧澤 潤／谷 紫寿／池田 仁子／池田 美亜／竹村 律夫／竹沢 佐知子／竹中 眞二／竹内 尚子／竹内 美弥子／中山 映子／中洲 啓子／中村 美智子／中村 美東里／中村 武美／中村 優子／中村 立子／中條 初美／仲 幸江／長橋 喜恵／長谷川 さおり／長谷川 文／長塚 三男／津田 敏夫／津呂 正代／椎名 鉄男／辻村 京子／貞末 真吾／田瀬 周二／田川 徹／田中 絵美／田中 浩司／渡部 小百合／土屋 真澄／土岐 和正／土谷 勇雄／島 ひとみ／島野 優／嶋田 哲也／藤井 千恵子／藤谷 千賀子／藤田 道子／藤本 晃／徳長 裕子／内村 慎史／二宮 直也／日浦 美智江／納村 知恵子／梅崎 亜衣子／梅津 糸由子／柏崎 誠／白井 素子／八住 智明／八幡 多美／半田 靖子／飯田 展久／飯島 泉／飯澤 千尋／樋口 喜美子／菱沼 久美子／蛭田 りつ子／武原 雄次／武山 富久／服部 陽児／福田 かおる／福島 敬子／平原 史樹／平出 稔／平野 ひかる／米山 勝子／片岡 裕美／片倉 弥生／北村 憲雄／牧瀬 稔／堀川 浩邦／堀川 真由弥／堀内 陽子／本郷 光規／本多 久／綿引 真理子／木下 嘉昭／木元 茂／木南 ゆーこ／野下 美幸／野口 勝宏／野口 由美子／矢部 敬輔／柳井 えりか／柳田 美智保／有賀 実男／梁瀬 正彦／林 靖／鈴木 喜久／鈴木 幸子／鈴木 淳子／鈴木 正雄／鈴木 美帆／鈴木 麻紀／鈴木 良子／和田 祐介／廣田 由紀子／廣澤 太朗／櫻井 加菜子／澤岡 悠紀子／澤田 ゆり子／澤田 綾／濱野 一美／濱﨑 和子／爲谷 義隆／齋藤 睦美／齊藤 峯子／濵野 えみま／髙橋 直子／BLACK CALLUM　JOHN ／ Hodes Weill Asia Limited ／ JP モルガン証券（株）／ NPO 法人看護職キャリアサポート　フリージア･ナースの会／（株）キャルティ／ニットービスコム（株）／エクスコムグローバル（株）／キャピタル･インターナショナル（株）／クラシエホールディングス（株）／ソソホラ／デンジャラス 赤鬼／モルガン・スタンレー MUFG 証券　（株）／レスパイト・ケアサービス萌／ロシュ・ダイアグノスティックス（株）／ロバート・ウォルターズ・ジャパン（株）／（一社）　Kimie Support Society ／（一社）　横浜市薬剤師会／（一社）　自分を好きになーる親子協会／（一社）インターナショナルボランティアグループ／（一社）繊維育英会／（一社）夢ラジオ／横浜みなとー馬車道ライオンズクラブ／横浜金沢マリーンライオンズクラブ／横浜戸塚ロータリークラブ／横浜友の会・金沢方面／（学）桜ヶ丘学園桜ヶ丘幼稚園／（学）頌栄女子学院／（株）アールケイエンタープライズ／（株）コロナ／（株）ピローズ／（株）横浜銀行／（株）イーエックス／（株）マメライト／（株）一通／（株）横浜アストレア／関東学院六浦こども園／（公財）生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会　神奈川県協会／境木地蔵堂／佐藤皮フ科クリニック／事業協同組合金沢八景共栄会／（福）尚生会／（福）神奈川県共同募金会／手芸ボランティアみなづき／（宗）日本聖公会横浜教区横浜山手聖公会婦人会／湘南ホノルルマラソン倶楽部／西谷地区社会福祉協議会／捜真女学校中学部・高等学部／相模翠ヶ丘幼稚園父母の会／中川駅前歯科クリニック／田辺三菱製薬（株）／杜企画　（株）／東洋英和女学院中学部高等部母の会／（特非）NADIA ／（特非）湘南鎌倉後見センターやすらぎ／ BACK HOME project ／日本基督教団　田浦教会／日本生命保険相互会社／明治ホールディングス（株）／明治安田生命保険相互会社　川崎支社／（有）　玉置建装／（有）　湘南コミュニティ／（有）　湘南仲介センター／（有）ハセガワ企画／（有）仁天堂薬局

【会費によるご支援者】（個人 160 名・法人 41 社）

青木 正仁／青木 千絵／赤松 靖／浅川 冨美子／荒井 淳子／粟倉 久達／飯田 綾野／池田 有子／石井 孝佳／市川 利子／一之瀬 隆哉／伊藤 美知子／伊藤 理人／井上 秀枝／井上 玲子／岩本 ひろみ／臼井 岳史／内山 洋子／圓城寺 良江／大久保 照子／大森 友美／沖野 和正／小畑 章／甲斐 明子／樫村 美和子／片野 待子／加藤 晶子／門田 由美／椛澤 由博／萱畑 佳代子／川股 美都里／河村 美歩／川村 良行／川本 哲平／岸本 貴子／岸本 大河／北岡 弘／久保田 充明／熊谷 明子／倉澤 八千代／黒田 勝治／河野 惇輝／小林 猛・千賀子／小林 房子／斎藤 義彦／坂本 良子／佐藤 朝美／白鳥 公彦／杉山 真紀／杉山 尚子／鈴木 祝美／鈴木 英樹／鈴木 仁美／瀬戸 識／高木 伸幸／田川 尚登／田島 玄太郎／田中 晃／田中 治美／田中 恵美／田中 勝／谷 征夫／津嶋 功／寺前 明／土岐 正身／冨岡 拓郎／豊田 秀雄／鳥澤 竹彦／長嶋 健志／西村 未央／沼沢 静江／濱中 裕喜／林 雄二郎／原田 悠平／原田 梢／平澤 研／平野 陽子／平野 由美子／深野 慶太／保坂 愛美／星月 正樹／真栄城 愛子／前田 篤俊／増田 征美／松阪 一紀／松島 紀代美／松本 元秀／三石 尚武／満岡 利夫／武藤 仁穂子／村上 愛／メンドーザ 友紀／森 まゆみ／守屋 茂樹／谷津田 全子／柳屋 奈津子／山口 みどり／山口 洋平／山口 恵津子／山崎 あけみ／山本 弘子／横田 奈央子／吉田 健太／吉田 敬子／渡邊 佳奈子／渡辺 由美／（医）たいようのき　オリーブ在宅クリニック／（医）やまびこ会／ウェインズ･ビジネスサービス（株）／ウェインズインポートカーズ（株）／ウェインズインポート横浜（株）／大家さん向上委員会／（株）アイランド不動産／（株）アプリシエイター／（株）キャルティ／（株）クリエイト SD ホールディングス／（株）JVC ケンウッド／（株）柴橋商会／（株）ツクイホールディングス／（株）トヨタレンタリース横浜／（株）ニックス／（株）不二家／（株）丸産技研／（株）ミールイノベーション／（株）豊商会／（株）横浜銀行／工藤建設（株）／ぐるっとママ横浜／（同）Lani ／田代鋼材（株）／トヨタウエインズグループサービス(株)／トヨタウエインズグループティーアップ(株)／トヨタカローラ神奈川(株)／とりがおか歯科／ニットービスコム(株)／ネッツトヨタ神奈川(株)／根本建設(株)／花屋こはな／フライスター(株)／ブライト看護（株）／ホンダカーズ神奈川中（株）／マハロ（株）／メガケアサービス関東（株）／（有）ワキ／横浜振興（株）／横浜トヨペット（株）／ YTT（株）

【マンスリーサポーター】（個人 218 名・法人 5 社）

秋山 映一／浅川 均／朝日 拓人／足立 悦子／安達 かほる／安倍 さやか／荒木 信寿／飯野 幸久／飯山 泰子／池田 千秋／石川 健二／石川 令子／石川 和男／石田 光和子／石塚 美智子／泉 美由紀／五十嶺 若枝／伊東 昂耶／岩元 まゆみ／上田 三千代／鵜篭 木の香／牛田 毬子／臼井 歩／内山 博嗣／江口 るみ子／大河原 あずさ／太田 充彰／太田 峻平／太田 正実／大好 誠／小野 愛里／勝田 圭代／加藤 和由／加藤 潤／加藤 紗和／金子 友紀＆春奈／神岡 孝明／川本 和弘／神林 悦子／菊池 安洋／工藤 近正／窪田 誠／黒川 正美／小池 幸憲／河野 由香里／小林 妙子／小林 秀多／齋藤 圭／齋藤 しおり／斉藤 性均／榊原 久里／佐川 るり子／櫻井 紗弥子／佐藤 優／佐藤 朝美／佐藤 麻由美／佐藤 睦子／地下 翔平／柴山 賢／澁澤 治美／清水 鉄也／末広 真徳／杉浦 美知子／鈴岡 藍子／鈴木 沙季／鈴木 友紀／園生 晴子／高木 夏菜子／竹内 江里那／武居 依子／田中 勝／田中 真能／田野中 朋子／千田 和馬／土田 佳菜恵／椿 芳／道正 伸久／戸矢 直幸／鳥海 友理子／中沢 清明／長瀬 亘宏／中山 香／縄田 修一／西尾 真奈美／西川 奈奈／西嶋 菜美子／貫井 孝雄／橋本 知哉／蓮見 俊夫／長谷川 賢／葉山 千賀子／平川 寿子／平田 良子／平野 将大／比留間 桃子／福田 晃徳／藤井 望／藤田 大智／藤本 奈美恵／藤谷 千賀子／藤原 里沙／古里 弘幸／古田 真弘／堀田 佳耶／本間 欽吾／本間 京子／前之濱 真紀／松井 早苗／松尾 由美子／松本 裕史／三崎 洋輔／水田 英朗／三田 恵美子／宮下 一紗／武藤 靖／本村 春守／森 彰子／森 海優／森川 圭／森田 稔／森元 由美子／八木 秀樹／山内 静香／山口 恵津子／山本 幸平／吉岡 亮輔／吉田 大祐／吉田 直人／我妻 慶祐／和栗 純子／渡辺 桂子／渡邊 輝子／（株）ヴォイスオブジャパン／（株）エムシープランナーズ／（株）ソシオコーポレーション／（株）KEIT ／（株）roger&olivia

【募金によるご支援者】

ベーカリーハウス　アオキ／菓匠栗山／パブ　ドレミ／境木地蔵尊／しろさんのレモネードやさん

【こどもホスピスチャリティーフェスティバルin YOKOHAMA2022　協賛】

大洋建設（株）／田辺三菱製薬（株）／（株）メモワール／宗教法人　弘明寺／（株）不二家／（株）ヨコレイ／（医）横浜未来ヘルスケアシステム／(株)安藤建設／(株)徳建／(株)　柴橋商会／三晃商事(株)／(株)ダッドウェイ／(株)ヒューマンリソースみらい／ベーカリーハウスアオキ

【第 4 回全国こどもホスピスサミット　協賛】

田辺三菱製薬（株）／（株）メモワール／横浜トヨペット（株）／（株）徳建／（株）　柴橋商会／（株）安藤建設／大洋建設（株）／（医）横浜未来ヘルスケアシステム

【クリスマスプレゼント協賛】

金沢マリーンライオンズクラブ／（株）学研ステイフル／（株）ダッドウェイ／（株）ブックダム／（株）不二家／（株）カラメルカラム

【物品寄贈】

若林洋食器店／横浜南ロータリークラブ／（特非）シャイン・オン・キッズ／ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社コールマン事業部／（株）　横濱おもてなし家／明治ホールディングス（株）／（株）　柴橋商会／荏原花園／花屋こはな／みんなのレモネードの会／ベーカリーハウスアオキ

見学会のご案内

昨年の開所から今年６月１日までに内覧会や見学会にご参加いただいた方は、784 名となりました。今後も多くの皆様に見学会にご参加いただき、こどもホスピスの理解や支援につなげてまいりたいと思います。現在、見学会は、下記の日程で開催しています。

開催日時　毎週水曜日（1 回目 10:00 ～ 11:00　2 回目 14:00 ～ 15:00）
＊都合により開催しない週もございます。下記の予約サイトよりご確認ください

定員　各回 10 名（感染症対策ため定員を設けております）

参加費　今年度は無料（次年度以降は未定）

予約申し込み　見学会予約サイト（Peatix）
https://peatix.com/user/11711198/view
＊電話やメールでも受け付けています。

支援のおねがい

【寄付で支援する】
いつでも自由な金額でご寄付をいただいております。

【毎月の寄付（マンスリーサポーター）】　※クレジットカード決済のみ
毎月定額のご寄付で継続的に支援する方法です。決済方法はクレジットカードのみです。毎月自動引き落としです。

【毎年の寄付（賛助会員年会費）】
会員として活動を継続的に見守り支えてくださる方を募集しています。

①個人：年会費　1 口 5,000 円から
②法人・団体：年会費　1 口 10,000 円から各種プランがございます。お気軽にお問い合わせください。

【振込先】※ご住所を必ず明記してください。追って領収書を送付させていただきます。

◎横浜銀行
支店名　本店営業部　普通預金口座番号　6173770
口座名義　特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクト

◎ゆうちょ銀行
振替口座　００２６０－９－１０４５１８
口座名義　NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト

◎ゆうちょ銀行以外の他の金融機関からの振込の場合
ゆうちょ銀行　店名０２９（ゼロニキュウ）、預金種目：当座、口座番号：0104518
口座名義：NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト

寄付はこちらから

※　寄付金、マンスリーサポーター、賛助会員年会費は税額控除が受けられます。
※　英語版寄付フォームもあります。

◎遺贈による寄付
生涯で築かれた大切な財産をお預かりし役立てさせていただきます。当法人に遺贈いただいた財産は相続税の課税対象になりません。お気軽にお問い合わせください。

○ HP　https://childrenshospice.yokohama/
○ Facebook・Instagram でも最新情報をお届けしています！

会報発行者：認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト
〒 236-0037　神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-49-5
TEL ＆ FAX：045-353-3153　e-mail: contact@ykh.jp　／　編集制作：（株）ユック舎
会報誌は「休眠預金活用事業」の助成金で制作されています。